

平成 26 年度 第 43 回 大谷竹次郎賞授賞式



前列中央、大谷信義松竹株式会社社長、右に川崎哲男氏、左に松岡亮氏

1月27日（火）、優れた新作歌舞伎の脚本に与えられる大谷竹次郎賞の平成26年度第43回授賞式が行われ、受賞作品『壽三升景清（ことほいでみますかげきよ）』の脚本を手がけた川崎哲男・松岡亮両氏に、松竹株式会社大谷信義会長より賞状と賞金、松竹大谷図書館賞として副賞の記念レリーフ（荒川明照 作）が手渡されました。今回受賞された松岡亮氏は37歳で、平成11年に第29回大谷竹次郎賞を『新・三国志』で受賞した横内謙介氏の38歳の記録を抜いて、史上最年少での受賞となります。

また、今回は受賞者が2人という事で、記念のレリーフも2点制作されました。このレリーフは陶製の皿に鑄造された鳳凰が取り付けられたもので、制作者の荒川明照氏によると、同じ窯で同時に焼いても、窯の中の場所や釉薬の掛かり具合で、微妙に風合いの異なる仕上がりになるそうです。今回のレリーフはオレンジがかった明るい色で、2枚のレリーフが並べられた様はまるで花が咲いたように可憐でした。



松竹大谷図書館に届けられた時のレリーフです。
当館の館名、そして大谷竹次郎賞に名前を冠している
大谷竹次郎の肖像画の前で記念撮影！

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『THE NEXT GENERATION パトレイバー 第7章』	○		○		
『シェアハウス・ウィズ・ヴァンパイア』	○				
『マエストロ!』	○	○	○		○

■ 映画プログラム ■

『ジャッジ 裁かれる判事』

『ジミー、野を駆ける伝説』

『海月姫』

『繕い裁つ人』

『ミュータント・タートルズ』

『はじまりのうた』

■ 松竹系 1月演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『祇園祭礼信仰記 金閣寺』	○			
	『蜘蛛の拍子舞』	○			
	『一本刀土俵入』	○		○	○
	『番町皿屋敷』	○			
	『女暫』	○			
	『黒塚』	○			
新橋演舞場	『石川五右衛門』	○		○	○
松竹座 (大阪)	『寿曾我対面』	○			
	『廓文章 吉田屋』	○			
	『天衣紛上野初花 河内山』	○			
	『将軍江戸を去る』	○		○	○
	『四代目中村鴈治郎襲名披露口上』	○			
	『恋飛脚大和往来 封印切』	○			
南座(京都)	『OSK OG SPECIAL ニューイヤードリームステージ』	○		○	○
	『薄桜記』 (前進座)			○	
	『松平健&川中美幸ビッグコンサート2015 in南座』				○
	『座オペラ in南座 オペラ「蝶々夫人」 全幕上演』			○	○
浅草公会堂	『春調娘七種』	○			
	『一條大蔵譚 奥殿』	○			
	『独楽売』	○			
	『仮名手本忠臣蔵 五段目・六段目』	○		○	○
	『猩々』	○			
三越劇場(日本橋)	『俄獅子』	○			
	『大つごもり』	○		○	
	『寒菊寒牡丹』	○			

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

(新着資料案内 続き)

■ 他社演劇公演資料 ■

京都芸術劇場春秋座	1 2月	クリスマス特別公演『未来創伝』プログラム
ザ・スズナリ	1月	親族代表『親族代表旅行記』プログラム
シアターコクーン	1 2月	『キレイ 神様と待ち合わせした女』プログラム
シアタークリエ	1月	『クリエンターレ!』プログラム 『スタンド・バイ・ユー』プログラム
新国立劇場中劇場	1 2月	『ブエノスアイレス午前零時』プログラム
中日劇場	1月	五木ひろし新春特別公演『人生双六』プログラム、台本
帝国劇場	1月	『2015年新春JOHNNYS World』プログラム
東京芸術劇場シアターウエスト	1 2月	芸劇トーク異世代リーディング『自作自演 第11回』プログラム
日生劇場	1 2月	『ヴェローナの二紳士』プログラム
	1月	『なにわ侍団五郎一座』プログラム
俳優座劇場	1月	劇団俳優座『桜の園』プログラム、台本
博品館劇場	1 2月	Succeed Project『あいのおはなし』プログラム
	1月	『Shoes On!』プログラム 青山メインランド『ヴァンパイア騎士』プログラム 韓国オリジナルミュージカル『パルレVol. 4』プログラム

■ 演劇雑誌 ■

『あぜくら』2015年1月号	『長唄』116号
『演劇界』2015年2月号,3月号	『日本芸術文化振興会ニュース』平成27年2月号
『演劇ぶっく』2015年2月号	『日本照明家協会誌』2015年1月号
『大向う』平成27年2月号	『日本舞踊』67巻2月号
『Confetti』2015年FEBRUARY	『悲劇喜劇』2015年2月号
『Confettiかわら本』2015年1月号,2月号	『ひろば』132号
『喝采』2015年5月号	『Bunkamura magazine』 No. 107, 108, 110, 113, 114, 116, 117
『国立演芸場公演ガイド』平成27年2月号	『文楽通信かわら版』25号
『SANUZ I』Vol. 6	『文化座』1171号
『J A T E T』76号	『ほうおう』2015年2月号,3月号
『シアターガイド』2015年3月号	『邦楽の友』平成27年2月号
『ステージぴあ』2015年1+2月号	『ミュージカル』2015年1月-2月号
『ストアハウスコレクション』No. 1	『ヨーロッパ通信』12号
『テアトロ』2015年2月号	『ラ・アルプ』2015年2月号
『伝統文化新聞』104号	

■ 映画雑誌 ■

『映画テレビ技術』2015年2月号	『シネ・フロント』2015年1月号
『映画ビジネス』平成27年1月下旬号	『松竹(社報)』2015年185号
『映画秘宝』2015年3月号	『東映キネマ旬報』Vol. 24
『衛星劇場プログラムガイド』2015年1月号,2月号	『月刊トドロキ・ユキコ』創刊特別号-29号
『NFCカレンダー』2015年2月号	『友 Iwanami Hall』 2014年冬号 No. 383
『キネマ旬報』2015年2月上旬号,2月下旬号	『ドラマ』2015年2月号
『黒澤明研究会誌』No. 32	『日経エンタテインメント!』2015年2月号
『SCREEN』2015年3月号	『ロケーションジャパン』2015年2月号
『シナリオ』2015年3月号	
『シナリオ教室』2015年2月号	

≫≫ 新規登録資料案内 新しく登録した資料をご案内いたします

■ 書 籍 ■

『共楽館と共に20年 共楽館を考える集い20周年記念誌』	共楽館を考える集い
『共楽館をみつめて十年 共楽館を考える集い10周年記念誌』	共楽館を考える集い
『劇団青年座六十年史』	劇団青年座
『JAPANESE FILM 2014』	UniJapan [ユニジャパン]
『青年劇場50年のあゆみ』	青年劇場
『第26回東京国際映画祭公式記録 [2013年]』	日本映像国際振興協会 (第25回東京国際映画祭実行委員会)
『常磐津節演奏者名鑑 第3巻 近代1:幕末期から明治期まで末期から明治期まで』	常磐津保存会
『虹の橋渡りつづけて 宝塚歌劇100年史』	阪急コミュニケーションズ
『前進座80年』中村梅之助 (著)	朝日新聞出版
『舞踊年鑑 2012-2013』	舞踊年鑑編集委員会 (編)
『映画を書くためにあなたがしなくてはならないこと シド・フィールドの脚本術』シド・フィールド (著)	日本バレエ協会
『素晴らしい映画を書くためにあなたに必要なワークブック シド・フィールドの脚本術2』シド・フィールド (著)	フィルムアート社
『近代日本芸能年表』	フィルムアート社
『小津ありき 知られざる小津安二郎』 田中眞澄 (著)	ゆまに書房
『西洋人物レファレンス事典 映画・演劇・芸能・舞踏篇』	清流出版
	日外アソシエーツ

≫≫ 資料提供 (2014年12月~2015年1月)

※許可を得た方のみ掲載しております

展示

- 歌舞伎座ギャラリー「歌舞伎は旅する大使館展(後期) 歌舞伎ファンを世界に」 2014年9月4日より2015年2月15日
戦前筋書『黒塚』の挿絵を12月下旬より展示に提供

出版

- 『松竹 ISSUE 一月社報185』 2015年1月20日 松竹
『松竹社報』第106・129号(1959年2月・1961年1月)を提供
- 『秋田魁新報』 2014年12月21日 秋田魁新報社
映画ポスター『あっぱれ五人男』を12月21日付特集記事(秋田魁新報創刊140年企画「秋田再探訪22 斎藤寅次郎」)に提供

プログラム掲載

- 「十二月大歌舞伎」 2014年12月2日より26日 歌舞伎座
『演芸画報』大正14年2月号グラビア(『小坂部姫』)、スチール写真『闇梅百物語』(明治43年1月市村座上演)を公演プログラムの記事に提供
- 「初春大歌舞伎」 2015年1月2日より26日 歌舞伎座
スチール写真『十一代目市川團十郎襲名披露口上』(昭和37年4月歌舞伎座上演)・『杓手鳥孤城落月』(大正14年6月歌舞伎座上演)・『身替座禅』(昭和13年3月歌舞伎座上演)・『元禄忠臣蔵 大石最後の日』(昭和9年2月歌舞伎座上演)、大正2年10月歌舞伎座筋書の表紙を公演プログラムの記事に提供

放送

- 『にっぽんの芸能 鴈治郎襲名によせて』 2014年12月19日22:00~22:58(再放送あり) NHK Eテレ
歌舞伎映画『中村鴈治郎 舞台のおもかげ』より、『盛綱陣屋』と『河庄』の舞台映像の一部を提供
- 特別番組『密着!襲名への道 平成のがんじろはん お披露目 SP 智美繁浪花暖魂』 2015年1月10日14:00~15:30 毎日放送(MBS)
歌舞伎映画『中村鴈治郎 舞台のおもかげ』より、『河庄』の舞台映像の一部を提供

その他

- 歌舞伎学会「九代目市川團十郎 家康像の変遷 『松栄千代田神徳』を中心に」(村島彩加) 2014年12月13日 東京女子大学
図書『舞台之團十郎』(九代目市川團十郎の写真4点)、「歌舞伎新報」表紙3点を学会発表の中での映写及びレジュメに提供

●「芝居番付」デジタル化作業経過報告を 立命館大学アート・リサーチセンターよりいただきました●

クラウドファンディングによりデジタル化の資金を募集いたしました当館所蔵の五千枚の「芝居番付」は、現在京都の立命館大学アート・リサーチセンターでデジタル化が進められておりますが、その作業のレポートと写真を、立命館大学大学院文学研究科の青山いずみさんにお送りいただきましたので、ご報告いたします。今回は「シワ伸ばし」の作業についてです。

1月に入り、番付のデジタルアーカイブ作業は着実に進んでいます。状態確認が終わったものから順に撮影していきますが、番付のコンディションによりそのままでは撮影できないものもあります。そこで今回は番付を撮影する前の準備作業についてです。

データベース用の撮影を行う場合、資料の皺や折れといったものを事前に直す必要があります。資料に影響のない程度の修復を行い、資料本来の姿に近づけた形での撮影を心がけています。番付も例外ではなく、専門の修復師が皺や折れのために隠れてしまっている文字や絵柄をできる限り本来の状態に戻してから撮影します。（これらの作業はすべて修復を専門とされている方によって行われています。）



(1)

まず、不織布を作業台に敷き、不織布全体を専用の霧吹きで均一に濡らします(1)。この時使用する霧吹きは、空気を圧縮することによって通常の霧吹きより細かい霧を作ることができるものです。



(2)

次に作業台と不織布の間に空気が残らないように、専用の刷毛を使い空気を抜きます。刷毛を上下左右・放射線上に動かし満遍なく空気を抜きます(2)。

不織布の準備はこれで終了です。次はいよいよ番付の皺や折れを伸ばしていきます。

不織布の上に番付を裏向けに置き、折れている部分を丁寧に伸ばします。その後、先ほどの不織布と同じ要領で番付にも霧吹きをかけます(3)。



(3)

霧を吹きかけた後は、手を触れずに少し待ちます。これは紙本来の伸縮性を利用するためです。

ある程度伸びた段階で、不織布と同じ要領で刷毛を使い丁寧に伸ばします(4)。



(5)

最後に、伸ばし終えた番付の上にもう一枚不織布を置き、刷毛で軽く馴染めながら番付を不織布で覆います(5)。

そして、番付を厚紙に挟み、その上から重しを置いて伸ばします(6)。



(4)



(6)

以上の行程を経て、番付撮影に移ります。次回は撮影方法をお伝えしたいと思います。

以上、立命館大学アート・リサーチセンターよりのご報告でした。撮影を行う前に、専門家の手によって資料の状態を丁寧に整える準備が行なわれている様子がとてもよく分かります。これからの作業が、とても楽しみです。

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2015（平成27）年1月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます

■ 春季特別整理休館のお知らせ ■

平成27年2月28日（土）より
平成27年3月15日（日）まで
資料整理のため休館いたします。
平成27年3月16日（月）より通常どおり開館いたします。

■ 編集後記 ■

▼今月の閲覧室の資料展示は、「中村鴈治郎」展の資料を引き続き展示しております。写真中心の展示であるためか、展示ケースのなかにもぎやかで、ご来館下さった利用者の方々にも、じっくりと見ていただけているようです。現在大阪松竹座で興行中の四代目中村鴈治郎襲名披露に引き続き、4月の歌舞伎座でも襲名披露が行われます。「鴈治郎はん」のお姿が、東京でも見られるのが楽しみです。

▼その四代目中村鴈治郎さんの祖父にあたる、二代目鴈治郎さんの出演映画『浮草』（1959年大映・小津安二郎監督）が、先日ケーブルテレビで放映されましたので、見てみました。実は、二代目鴈治郎さんの動くお姿を見るのはこれが初めてでした。普段から当館が所蔵しているスチール写真などで様々な舞台姿を見ており、ちよつとした仕草や表情で表現される強い個性に魅せられていたのですが、映像のなかの二代目鴈治郎さんは、そこにいるだけで、観ている側の喜怒哀楽を否応なしに引き出してくれる存在感と演技力でした。他の出演作も見たくありません。ちなみに、歌舞伎では、『仮名手本忠臣蔵』の由良之助と、『伽羅先代萩』の八汐を観たい、と思っております。（あ）



● 利用案内 ●

開館時間

平日午前10時～午後5時

休館日

土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期夏期特別整理期間

※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します。

閲覧 館内閲覧のみ
入館料 無料

● 交通案内 ●

東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分